食育事業取組報告書（御免町小学校）

食育活動区分	（該当するものを□で囲む） 育てる ・ 作る ・ 食べる ・ 返す	実施年月日	令和4年　　6月　13日
教科名	学級活動	指導者	T1：1組奈良橋 2組大滝 3組前田 T2：田中
単元名	しょくじのまなあをみにつけよう		
ねらい	正しい食事のマナーを知り、良い姿勢や、食器・はしの正しい持ち方を実践しようとする意欲をもつことができる。		

児童・生徒の活動	支援・指導上の留意点	資料
1. 先生の食べ方の演技を見て、正しい食べ方を考える。	・悪いマナーで給食を食べる演技をする。（はしの持ち方がバッテン、食器を持たず背中を丸めている、茶碗の内側に親指が入っている。）	
2. 正しいマナーを知る。		・悪いマナーの絵
3. 正しい食事の姿勢を知る。	・姿勢が悪いと食べる量が少なくなり、消化も悪いことを伝える。	・悪い姿勢で胃腸が押しつぶされている絵
4. 正しい茶碗の持ち方を知る。	・正しく茶碗を持つと、こぼさず、ご飯がたくさん入った茶碗もしっかり持つことができることを伝える。	・茶碗の正しい持ち方の絵
5. 正しいはしの持ち方を知る。	・実践して解説する。（1本だけ持って1を動かすように動かす。2本目を持って上のはしだけ動かす。）	・持ち方手順の絵
6. 学習したマナーを実践する。	・練習用のはし・茶碗で、良い姿勢、茶碗の持ち方、はしの持ち方ができているか巡視する。	
7. マナーを身に付ける理由を知る。	・上手にはしを使えると、お茶碗の中でご飯粒を集められることも伝える。（→洗う調理員さんも喜ぶ。）	
8. 食器の正しい置き方を知る。 9. 学習をふり返る。	・正しい食器の並べ方をすると、おかずをこぼしたり、おはしを落としたりすることがなくなることを伝える。	

成果と課題	【成果】 ・学習後、給食の時間に正しい食器の並べ方を意識し、子ども同士で声をかけて配膳する様子が見られ、学んだことを実践しようとする姿があった。 ・自分の姿勢を見直し、改善しようとする子が多く見られた。
家庭・地域との連携	・学習した内容をおたよりで保護者へ伝え、お家でも食事のマナーを意識できていたか1週間チェックをした。「お家でも、食事のマナーを見直すきっかけになった」という保護者からの声もあった。